

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）8月5日号 No. 1302

目次

●ロシア極東経済の戦略と現実	P. ミナキル・O. プロカパロ 1
●キーパーソン	10
新しい駐ウズベキスタン大使に楠本氏／10	
プーチン大統領の腹心がロスネフチ会長に／11	
●エトセトラ	11
メンバーズ・ブリーフ「プーチン政権下のロシア・エネルギー戦略」／11	
ハバロフスクにおける工業団地計画（テクノセンター）について／11	
新刊案内『北樺太石油コンセッション 1925-1944』／11	
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定	12
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	12

特別寄稿

ロシア極東経済の戦略と現実

ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所所長 P. ミナキル
同研究書記 O. プロカパロ

はじめに

2002年3月19日付のロシア連邦政府決定により、「1996～2005年および2010年までの極東・ザバイカル経済・社会発展連邦プログラム」が承認された（以下本稿では単に「プログラム」と呼ぶ）。これは、1996年4月15日に採択された1996～2005年の大統領プログラムに修正を加え、期限を2010年にまで延長したものである（「ザバイカル」というのは「バイカル湖の向こう側」という意味で、具体的にはブリヤート共和国とチタ州を指す。両地域は行政区分上はシベリア管区に属すが、地理的・経済的に極東とのつながりが深いため、経済政策上は極東管区と一体で扱われている）。

1998年の経済危機以降、ロシア経済は回復に転じたが、極東地域の経済指標は総じて全国平均を下回った（第1～4図）。1996～2005年の極東経済プログラムが発効していたにもかかわらず